



約800人で動きを合わせて踊った
さんさ大輪踊り

恒例の矢巾町夏まつりが7月17日、矢巾ショッピングセンター内特設会場で開催。町内外から約1万4千人が来場しました。不來方高校吹奏楽部のミニコンサートでスタート。ひよっこ太郎のすこっぷ三味線ショーなど楽しいイベントで盛り上がりました。さんさ大輪踊りでは、会場全体が熱気に包まれていました。今年のさんさ大輪踊りで見事、素敵な女性ナンバーワンに輝いたのは藤原和子さん（チーム岩清水）でした。

最後は、打ち上げ花火と特設会場内での吹き上げ花火。来場者は夜空に流れる花火を見て、夏のひと時を満喫していました。

熱気あふれるさんさ大輪踊り 今年も大盛況矢巾町夏まつり

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。

役場企画財政課
(☎ 611-2724)

「ひよっこ太郎」と「煙山おかめ」の
三味線テクニックで会場は大盛り上がり



優勝した高田1区チームの皆さん

戦い続けた36年の歴史に幕 子ども会交流ドッジボール大会

7月1日、町子ども会育成会連合会（白澤正彦会長）が「矢巾町子ども会交流ドッジボール大会」を開催しました。

高田2・3区チームの安ヶ平優衣キャプテンの選手宣誓で大会が始まり、全6チームが優勝を目指して、最後まで戦い抜きました。優勝は高田1区チーム。千葉丈幹キャプテンは「最後の大会で優勝できてすごく嬉しいです。チームワークなど高められ仲良くなれました」と優勝した心境を語りました。

この大会は1982年に始まり、参加チームの減少で今年が最後の大会となり、長い歴史に幕が下りました。



華麗なパスワークで相手を追い詰め、
攻撃する藤沢チーム



公園の清掃活動で住みよい町へ

矢巾3区行政区では、7月9日の早朝、公園2カ所の清掃活動を実施。参加者は、樹木のせん定や草取りをして自分たちの地域を住みよくするために協力して作業をしました。



スポーツを通じて親睦深める

はつらつクラブやはばでは6月24日、第32回生きいきシルバースポーツ交流会を開催。町内の老人クラブが親睦を深め、優勝を目指して競技に臨んでいました。優勝は、不動A(和味長栄、桜屋寿楽会)でした。



明るい社会を目指して啓発活動

“社会を明るくする運動”矢巾推進委員会では7月3日、町内9カ所で啓発活動を実施。犯罪や非行のない明るい社会を実現するために、矢幅駅前まで通勤・通学をする方に呼びかけを行いました。



得点を狙い、ホームベースへ滑り込む選手(西徳田ブルーウィングス)

町と株式会社薬王堂(西郷辰弘代表取締役社長)の共催で7月1日、かつこうグラウンドで「少年野球大会」を開催しました。町内にある学童野球チーム全4チームが参加し、白熱した戦いを繰り広げました。優勝した白沢ベアーズの村松和くん(不動小6年)が最優秀選手を受賞し、8月10日に行われる矢巾町ナイター(楽天対日本ハム戦)で始球式を務めます。この大会は、町内チームの選手や父母の交流を目的として、同社は食育の講習会や販売している商品の試供など、参加チームとの交流を図り、地域とのつながりを深めました。

地域とのつながりを深めた
町と薬王堂による少年野球大会



みんなで歌を歌いながら大豆をつぶす園児たち

煙山保育園では、6月22日に3ちゃん矢次工房の高橋民恵さん(矢次・56歳)を先生に迎え、味噌作りを体験しました。園児たちは、味噌がどうやってできるのか説明を受けた後、おいしい味噌を仕込むために歌を歌いながら大豆をつぶしました。大豆をつぶした時の「ムギユ」という感触を体験するなどし、地域の方と交流を深め、豊かな心を育みました。この日仕込んだ味噌は、1年後に園の給食で出される予定です。この取り組みは、地域の方を名人として招き、楽しい話や体験をして、園児の意欲や探究心などを養う事業です。

おいしくなーれ!
煙山保育園で味噌作り体験